

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
163		人権啓発推進事業	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
基本	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	項	01	総務管理費
策			目	18	人権啓発費
	4	人権啓発活動の推進	細目	101	人権啓発推進経費
			細々目	01	人権啓発推進経費
基本計画該当頁		146~149	行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	651000	評価者氏名	藤岡 勉	連絡先
	名称	阿山支所 人権政策推進室			43 - 0334 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	阿山地区の住民・自治会・団体・企業等 (対象件数)	人権啓発地区懇談会・フェスティバルへの参加、リーダー育成のための人権学習会、自治会等による人権講演会の開催により、住民一人ひとりの人権意識が向上します。
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 12 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発地区懇談会を13区で開催(6月~1月) 阿山地区人権フェスティバル2006の開催(12/2) 自治会と支所職員対象の人権学習会の開催(2/16) 人権広報「ささゆり」の全戸配布(9/15、12/15、3/1の3回) 自治会等の主催による人権講演会講師謝礼の支援(6件) 人権啓発団体への活動助成(ヒューマンライツ阿山) 企業啓発としてアンケート調査と訪問ヒアリングの実施(11社) 人権作品展の開催(11/3~11/5、11/11~12/10) 	行財政改革大綱による予算編成方針により、事業費の増大が見込めないため、予算をあまり要しない事業の充実拡大が必要となっています。
状況変化等		

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
人権啓発地区懇談会の開催	区	目標 3 実績 3	目標 13 実績 13	13	15
阿山地区人権フェスティバルの開催	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
自治会等主催の人権講演会講師謝礼支援	件	目標 10 実績 6	目標 10 実績 6	6	10

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
人権啓発地区懇談会の参加者比率	開催区の総世帯数を分母とし、参加者の総人数を分子とします。	%	目標 40 実績 36	目標 42 実績 38	44	46
阿山地区人権フェスティバルの参加者(来場者)数	開催会場の最大収容員数(334人)を指標とします。	人	目標 334 実績 365	目標 334 実績 311	334	334

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	差別事件・事象が後を絶たないなど、社会に偏見や差別が依然として残っているという現実があるため、すべての住民に向けて、今後も引き続き人権啓発を推進しなければなりません。
有効性	3	市主催によるフェスティバル・人権学習会への参加や自治会等主催による人権講演会の開催など、多くの研修機会を設けることにより、着実に住民の人権意識向上を図ることができます。
達成度	3	人権啓発地区懇談会及び阿山地区人権フェスティバルの開催実績は達成できているが、それぞれの参加者数は目標値に少し到達できなかった。
効率性	4	阿山地区人権フェスティバルは、一度に多数の参加者を得ることができ、極めて効率的な事業です。また、人権啓発地区懇談会については、人件費と資料以外の経費は要しません。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発地区懇談会の開催にあたり、支所間で情報交換などの連携を図り、啓発格差のない充実した研修内容にします。 阿山地区人権フェスティバルは、参加者の目標値達成を目指し、啓発効果の高い魅力ある講演会を開催します。 自治会等主催による人権講演会の開催について、制度の周知徹底と個別対応により推進します。

進捗状況	年度	委託	工事	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容								
				事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額				
事業内容				人権フェスティバル	1	回	488	人権フェスティバル	1	回	662	人権フェスティバル	1	回	649	人権フェスティバル	1	回	784	人権フェスティバル	1	回	784	人権フェスティバル	1	回	784
				人権啓発団体助成	1	件	200	人権啓発団体助成	1	件	200	人権啓発団体助成	1	件	200	人権啓発団体助成	1	件	200	人権啓発団体助成	1	件	200	人権啓発団体助成	1	件	200
				人権学習会	1	回	20	人権学習会	1	回	30	人権学習会	1	回	30	人権学習会	1	回	30	人権学習会	1	回	30	人権学習会	1	回	30
				その他経費	1	式	507	自治会人権講演謝礼	6	件	180	自治会人権講演謝礼	6	件	180	自治会人権講演謝礼	10	件	300	自治会人権講演謝礼	10	件	300	自治会人権講演謝礼	10	件	300
							その他経費	1	式	451	その他経費	1	式	371	その他経費	1	式	597	その他経費	1	式	597	その他経費	1	式	597	
進捗率(%)				事業費計(A)			1,215	事業費計(A)			1,523	事業費計(A)			1,430	事業費計(A)			1,911	事業費計(A)			1,911	事業費計(A)			1,911
事業投入人員				人件費(B)	2.9	人	20,880	人件費(B)	2.9	人	20,880	人件費(B)	2.9	人	20,880	人件費(B)	2.9	人	20,880	人件費(B)	2.9	人	20,880	人件費(B)	2.9	人	20,880
フルコスト(A)+(B)							22,095				22,403				22,310				22,791				22,791			22,791	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	1,215	1,523	1,430	1,911	1,911	1,911
国庫支出金						
県支出金	149	434	407	472	472	472
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	1,066	1,089	1,023	1,439	1,439	1,439
計	1,215	1,523	1,430	1,911	1,911	1,911
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	人権啓発活動推進事業費補助金 補助基本額 299,000円 県1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 補助基本額 895,000円 県1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 補助基本額 814,000円 県1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 補助基本額 944,000円 県1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 補助基本額 944,000円 県1/2